

水稻生育情報 No.4

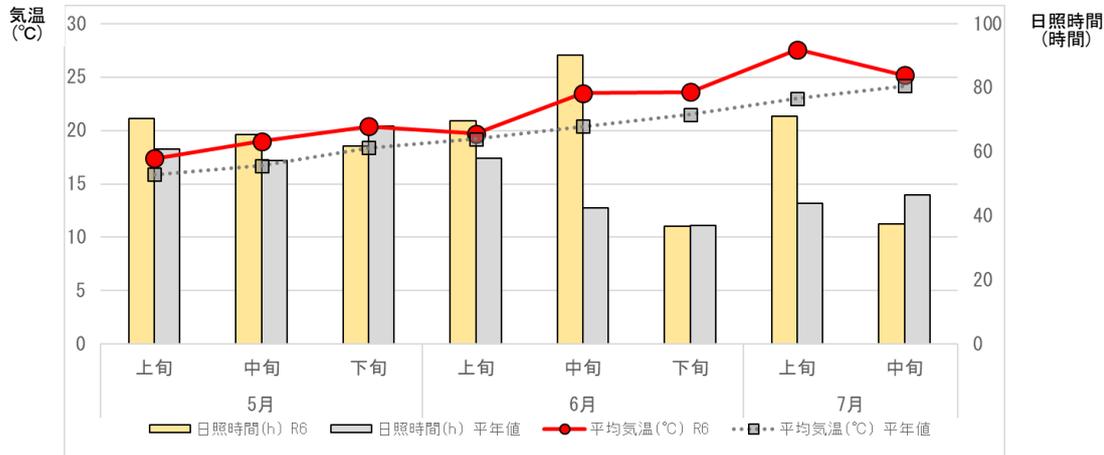
発行日：令和6年7月24日
 県央農林事務所 経営・普及部門
 (水戸地域農業改良普及センター)
 TEL：029-227-1521

高温登熟による乳白粒等の発生防止のため、適切な水管理を行いましょう。

【気象概況】(7月20日現在)※水戸气象台データより

7月上旬から7月中旬(7/1~7/20)にかけての水戸市の気象は、平年に比べて平均気温は全期間を通して高く、日照時間は上旬が多く、中旬は少なかった。

また、7月中旬の降水量は、平年と比べて304%と多かった。



【生育概況】(7月19日現在)

管内の「コシヒカリ」定点圃場は平年に比べて草丈は平年よりやや長い~極く長い、茎数はやや少ない~平年並、葉色はやや淡い~平年並であり、出穂期は3~7日程度早いと予想される。

「コシヒカリ」定点調査圃場の生育調査結果 (7月19日)

調査地点	年度	移植日 (月/日)	移植日から 調査日まで の日数	栽植 密度 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎数 (本/株)	葉色 (カラー スケール)	出穂期 予測 (月/日)
水戸市 坏大野	R6	5/4	76日	51.6	91.7	443	29	3.2	7/28
	平年値	5/4	76日	51.7	86.8	461	30	3.4	7/31
茨城町 上石崎	R6	5/3	77日	52.3	99.6	358	23	3.3	7/25
	平年値	5/9	71日	55.1	83.3	364	22	3.4	8/1
小美玉市 上玉里	R6	5/19	61日	52.9	100.1	383	24	3.4	8/2
	平年値	5/23	57日	56.8	78.5	410	24	3.8	8/8
那珂市 鹿島	R6	5/21	59日	52.8	82.7	342	22	3.3	8/4
	平年値	5/26	54日	51.0	73.8	386	25	3.3	8/10

※出穂期予測は、今後の気温が+2°Cで推移すると仮定してして幼穂長から予測。

【今後の栽培管理】

1 間断かんがいで、大粒の米づくりと乳白粒の発生軽減を目指す

◆登熟期間の高温は乳白粒の発生を助長する可能性があります。根の活力を維持して、乳白粒の発生を防止するため、出穂後は引き続き間断かんがいを行いましょう。また、出穂後、最低気温が25°Cを上回る高温地域において、用水が十分に確保できる場合は、夜間かけ流しを行い地温の低下に努めましょう。落水時期は、「あきたこまち」で出穂後25日頃、「コシヒカリ」・「ふくまる」で出穂後30日頃です。※夜間かけ流しについては、地元の土地改良区等からの情報に留意し、地域の水事情を踏まえて対応してください。

2 病害虫の発生に注意し、適期防除を行う

◆いもち病: 移植時期の遅い圃場や葉色の濃い圃場で葉いもちの発生が見られます。葉いもちが多発し、上位葉に病斑が見られる場合には、穂いもちの発生につながるため、早期防除を徹底しましょう。
 ◆斑点米カメムシ類: 防除適期は、①不稔被害の軽減: 出穂期~穂揃期、②斑点米被害の軽減: 出穂10~15日後頃(乳熟期: 籾を押すと白色の汁のようなものが出る時期)です。発生量が多い地域では①と②の2回防除を行いましょう。